

時をかける少女 (2006)

メディア 映画 アニメ

ジャンル 青春 ファンタジー ロマン스

製作国 日本

色彩 Color

時間 100分

初公開日 2006/07/15

公開情報 角川ヘラルド映画

【キャッチコピー】

待ってられない
未来がある。

【解説】

これまでに何度も映像化されてきた筒井康隆の名作ジュブナイルを初のアニメ映画化。あるきっかけで、過去に遡ってやり直せる“タイムリープ”という能力を身につけたヒロインの淡い恋の行方と心の成長を丁寧な筆致で綴る。監督は「ONE PIECE ワンピース THE MOVIE オマツリ男爵と秘密の島」の細田守。

明るく元気な高校2年生、紺野真琴は、優等生の功介とちょっと不良な千昭と3人でいつもつるんで野球ばかりして楽しい毎日を送っていた。そんなある日の放課後、真琴は理科準備室で、突然現れた人影に驚いて転倒してしまう。その後、修復士をしている叔母・芳山和子のもとへ自転車で向かった真琴は、ブレーキの故障で踏切事故に遭ってしまう。死んだと思った瞬間、真琴はその数秒手前で意識を取り戻す。その話を和子にすると、和子は意味ありげに、それは“タイムリープ”といって年頃の女の子にはよくあることだと、冗談とも本気ともつかない説明をするのだった。最初は半信半疑だったが、いつしか使い方を覚えて些細な問題でも簡単にタイムリープで解決してしまい、すっかり調子に乗る真琴。そんなある日、真琴は千昭から突然の告白を受ける。3人の友だち関係がいつまでも続くと思い込んでいた彼女は、動揺のあまり、タイムリープで告白そのものをなかったことにしてしまうのだが…。

【クレジット】

| | | |
|------------|------------------------------|------------------------------|
| 監督 | 細田守 | |
| アニメーション制作 | マッドハウス | |
| プロデューサー | 渡邊隆史 齋藤優一郎 | |
| 原作 | 筒井康隆 | 『時をかける少女』（角川文庫刊） |
| 脚本 | 奥寺佐渡子 | |
| キャラクターデザイン | 貞本義行 | |
| 作画監督 | 青山浩行 久保田誓 石浜真史 | |
| 美術監督 | 山本二三 | |
| 音楽 | 吉田潔 | |
| 声の出演 | 仲里依紗 石田卓也 板倉光隆 原沙知絵 | 紺野真琴 間宮千昭 津田功介 芳山和子 |

| | |
|-------|------|
| 谷村美月 | 藤谷果穂 |
| 垣内彩未 | 早川友梨 |
| 関戸優希 | 紺野美雪 |
| 桂歌若 | |
| 安藤みどり | |
| 立木文彦 | |
| 山本圭子 | |
| 横張しほり | |
| 松岡そのか | |
| 反田孝幸 | |
| 松田洋治 | |
| 中村正 | |